

## 【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 不良習癖を伴う病態に対する治療報告 1 症例

演者名 園木 誠

日 付 2017年7月29日

### keywords

1. 移植
2. 不良習癖
3. MTM
4. インプラント
5. 副鼻腔炎

### 抄録

欠損歯列は進行性の病態ととらえる場合、その治療はいわゆる根本治療ではなく対症療法と言わざるを得ない。さらに、その治療を行う場合 顎位が比較的安定し欠損に至る咬合崩壊の原因が明らかにカリエス・ペリオ由来の場合や不慮の事故によるものなど原因が明確な場合は治療後の予知がある程度把握できる。しかし、顎位に異常を(自他にかかわらず)認め、ましてや非機能時咬合や不良習癖・他科疾患が複雑に絡み合っていることが予測されるケースは治療を進めていく上で非常に悩ましく、また予後安定のために従来の歯科的治療アプローチ以外の観点からもサポートしなければならない。

今回、2012 年初診時上顎左側のブリッジの動揺を主訴とし来院された患者にインプラント・移植・不良習癖の改善指導を行い治療しQOL の改善を得た症例を報告したいと思う。